

## 平成27年度 認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告

平成28年3月

盛岡市（岩手県）

○計画期間：平成25年12月～平成30年3月（4年4月）

### I. 中心市街地全体に係る評価

#### 1. 平成27年度終了時点（平成28年3月31日時点）の中心市街地の概況

本市は、平成20年7月に国の認定を受けた「盛岡市中心市街地活性化基本計画」の計画期間終了後、新たに「第2期盛岡市中心市街地活性化基本計画」を策定し、平成25年11月に認定を受けた。第2期計画においては、3つの基本方針「商店街の賑わいや魅力を楽しむ中心市街地」、「暮らしや便利さを感じる中心市街地の形成」、「盛岡の歴史や文化に触れる中心市街地の形成」に基づき、全60事業の実施により、さらなる中心市街地の活性化を目指している。

平成27年度は、中央通二丁目地区優良建築物等整備事業の完了により、居住人口の増に繋がったほか、ポータルサイトと連携した新地域カードシステム事業により導入した地域カードの普及が進み、中心市街地の交流人口と回遊性の向上が図られたと推測される。今後は地域カードの加盟店舗数の拡大やポータルサイトによる情報発信の充実などにより、更なる効果が期待できると考える。

一方で、主要事業のハード整備事業には実施中または未実施の事業があり、そうした事業を着実に進めることで、引き続き中心市街地の活性化を推進していく。

#### 2. 平成27年度 of 取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

平成27年度は、目標指標である盛岡市街地の宿泊観光客数が目標値を達成したほか、大通コアエリア周辺の居住人口が増加し徐々に取組の成果が現れてきているものと評価する。

一方で、中心市街地の歩行者・自転車通行量については平成26年度からは増加したものの目標値には届かず、今後未着手となっている事業を着実に実行するとともに、中心市街地の回遊性向上に向けた取組について検討が必要と思われる。また、中心市街地を訪れる要因や観光に訪れる要因など、指標を構成する様々な要因についての分析も重要である。もりおか歴史文化館の入館者数については平成26年度から減少しており目標達成に向けた取組について検討が必要と思われる。

平成28年度は、希望郷いわて国体や北海道新幹線開業などにより交流人口の増加が見込まれることから、その増加を一時的なものとしないうちに、市民総参加のおもてなし機運の醸成に努めるとともに、中心市街地のまちなか回遊性向上、地域経済の好循環に大きな効果が期待されるMORIO-Jカードの事業についても広く周知を図り、まちづくりに関する様々な情報が市民及び事業者に行き届くように配慮願いたい。

また、国際リニアコライダーの実現を見据えたまちづくり、盛岡バスセンター再整

備事業も含めた公共交通のあり方、PPPやPFI等民間活力を利用した開発等についても検討しながら中心市街地活性化基本計画に基づく盛岡市の将来像を官民が積極的に議論し、社会経済情勢の変化に対応した持続可能なまちづくりが推進されることを期待する。

## II. 目標毎のフォローアップ結果

### 1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の見通し	今回の見通し
賑わいあふれる中心市街地	中心市街地の歩行者・自転車通行量	48,332人 (H25)	52,000人 (H30)	46,210人 (H28)	②	②
賑わいあふれる中心市街地	大通コアエリア周辺の居住人口	5,202人 (H25)	5,400人 (H30)	5,365人 (H28)	②	②
訪れたい中心市街地	盛岡市街の宿泊観光客数	50.0万人 (H22)	56.2万人 (H29)	66.3万人 (H27)	①	①
訪れたい中心市街地	もりおか歴史文化館の入館者数	25.1万人 (H24)	27.0万人 (H29)	22.9万人 (H27)	③	③

#### <取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

### 2. 目標達成見通しの理由

「中心市街地の歩行者・自転車通行量」については、ハード整備事業を中心に現時点での未実施の事業があるなど、想定している効果が十分に発現していないことから、基本計画掲載事業の着実な進捗を図るほか、ポータルサイトと連携した新地域カードシステム事業の対象店舗の拡大やポータルサイトによる情報発信の充実など、回遊性に寄与する事業の実施により目標達成に取り組んでいく。

「大通コアエリア周辺の居住人口」については、平成27年度に事業完了した中央通二丁目地区優良建築物等整備事業の効果等により、増加となったと推測される。引き続き実施予定の事業の推進により目標達成を目指す。

「盛岡市街の宿泊観光客数」については、前回は下回ったものの依然として目標値を上回る水準を維持している。また、日帰りを中心市街地以外も含めた観光客入込数は過去最高となっており、希望郷いわて国体や北海道新幹線開業による交流人口を、

市街への宿泊観光客数に結びつけるため、盛岡おもてなし度UP事業などの事業により、目標達成を目指す。

「もりおか歴史文化館の入館者数」については、目標値に到達していないことから、もりおか歴史文化館内で実施する事業の効果が十分発現していないことが考えられるが、もりおか広域まるごとフェアをはじめとする歴史文化館周辺のイベントの集客を入館者の増に結び付ける方策を講じることなどにより、目標の達成を目指す。

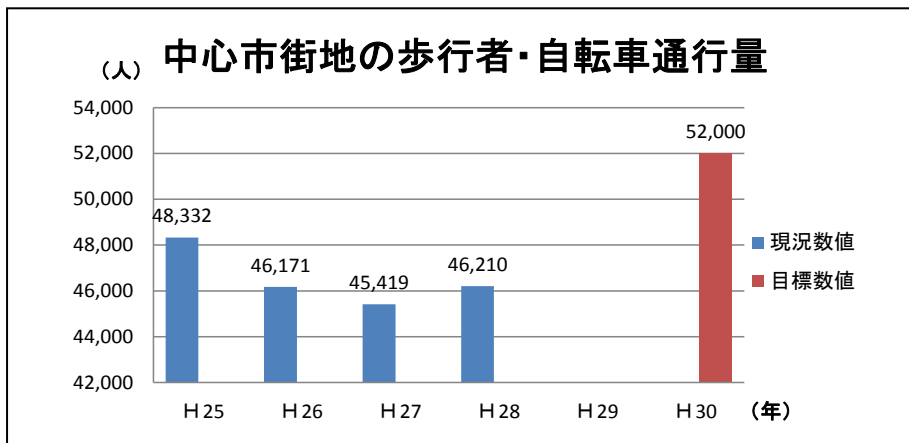
### 3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

前回フォローアップの実施から変更はない。

### 4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「中心市街地歩行者・自転車通行量」※目標設定の考え方基本計画 P89～P93 参照

#### ●調査結果の推移



年	(人)
H25	48,332 (基準年値)
H26	46,171
H27	45,419
H28	46,210
H29	
H30	52,000 (目標値)

※調査方法：歩行者・自転車通行量調査（毎年3月に実施）

※調査月：平成28年3月27日（日曜日）、28日（月曜日）

※調査主体：盛岡まちづくり株式会社

※調査対象：歩行者及び自転車通行者、2日間8地点（数値は加重平均）

#### ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

##### ①. 盛岡バスセンター再整備事業（株）盛岡バスセンターほか

事業完了時期	平成28年度【未】
事業概要	現在の盛岡バスセンターを建替え、バスターミナル機能の強化を図るとともに、商業機能や公益的機能が充実した複合施設として再整備する。
事業効果及び進捗状況	資材費や労務費の高騰などにより、当初の計画に遅れが生じており、関係団体と実質的な協議・調整を進め、早期の実施に努める。本事業の実施により、中心市街地歩行者・自転車通行量140人の増加が見込まれる。

##### ②. (仮称) 岩手銀行旧中ノ橋支店（赤レンガ）活用事業（株）岩手銀行

事業完了時期	平成28年度【実施中】
--------	-------------

事業概要	岩手銀行旧中ノ橋支店（赤レンガ）を保存修理し、見学・展示等の施設として活用を図る。
事業効果及び進捗状況	事業は予定どおりに進捗しており、平成27年度に保存修理が完了し、平成28年度に公開予定。本事業の実施により、中心市街地歩行者・自転車通行量106人の増加が見込まれる。

③. (仮称) 河南地区駐車場整備事業（盛岡まちづくり(株)ほか）

事業完了時期	平成28年度【実施中】
事業概要	河南地区にある平面駐車場を立体化し、河南地区の商店街や核店舗である商業施設の利便性の向上を図る。
事業効果及び進捗状況	平成26年度に実施した商店街まちづくり事業(中心市街地活性化事業)による調査を踏まえ関係機関との協議を行っており、早期の実施に努める。本事業の実施により、中心市街地歩行者・自転車通行量192人の増加が見込まれる。

④. 中央通二丁目地区優良建築物等整備事業（優良建築物等整備事業）（盛岡市中央通二丁目地区再開発ビル建設協議会）

事業完了時期	平成27年度【済】
事業概要	土地の高度利用を図るとともに、防災性、省エネに配慮したマンションを建設し、まちなか居住の推進を図る。
事業効果及び進捗状況	平成27年9月に分譲マンション(110戸)が完成。本事業の実施により、中心市街地歩行者・自転車通行量の増加に寄与したものと見込まれる(増加人数見込158人)。

⑤. 大通地区優良建築物等整備事業（優良建築物等整備事業）（(仮称) 盛岡市大通地区再開発ビル建設協議会）

事業完了時期	平成29年度【実施中】
事業概要	土地の高度利用を図るとともに、防災性に配慮したマンションを建設し、まちなか居住の推進を図る。
事業効果及び進捗状況	権利者の調整に時間を要しており、当初の計画に遅れが生じているが、早期完了に向けて助言、監督等を行う。本事業の実施により、中心市街地歩行者・自転車通行量115人の増加が見込まれる。

⑥. ポータルサイトと連携した新地域カードシステム事業（盛岡商工会議所・盛岡ValueCity(株)ほか）

事業完了時期	平成26年度～【実施中】
事業概要	盛岡市内の商店街で共通して使用できる地域カードの導入及びポータルサイトの構築による情報発信。
事業効果及び	中心市街地で利用する地域カードが約83,000人に普及し、カード加

進捗状況

盟店のポータルサイトでの情報発信も開始したことから、中心市街地の回遊に寄与していると推測される。今後は加盟店の拡大とポータルサイトの充実を図る。本事業の実施により、中心市街地歩行者・自転車通行量402人の増加が見込まれる。

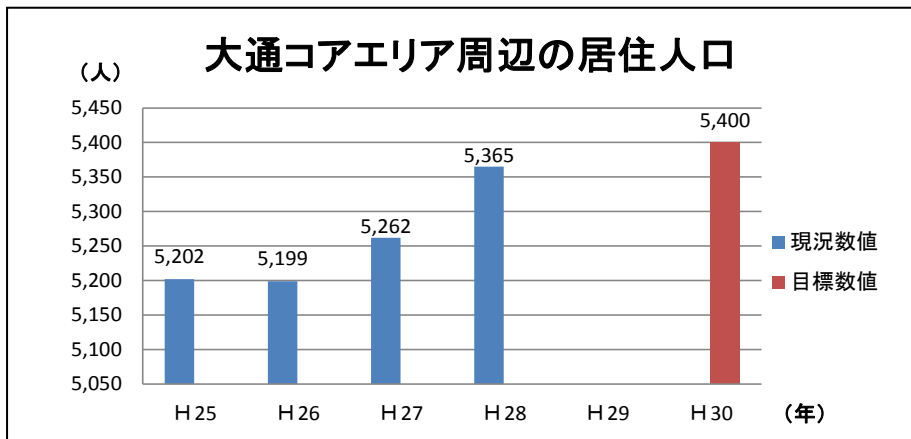
●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業であるハード整備事業が実施中または未実施であることから、事業の効果が発現するのは、今後になることが見込まれる。一方、ソフト事業の商店街活性化事業や公共交通利用促進関連事業等は、計画どおり実施されているものの、歩行者・自転車通行量が減少しており、今後ハード整備事業の実施により、効果が発現するものと推察される。

今後の対策としては、中心市街地の回遊性の向上に大きな効果が期待されるポータルサイトと連携した新地域カードシステム事業の充実と、盛岡バスセンター再整備事業などの主要事業及び優良建築物等整備事業等の新規ハード整備事業を着実に進めていくことで、目標達成を目指していく必要がある。

「大通コアエリア周辺の居住人口」 ※目標設定の考え方基本計画P93～P95参照

●調査結果の推移



年	(人)
H25	5,202 (基準年値)
H26	5,199
H27	5,262
H28	5,365
H29	
H30	5,400 (目標値)

※調査方法：住民基本台帳

※調査月：平成28年4月（平成28年3月末の数値）

※調査主体：盛岡市

※調査対象：大通コアエリア（大通・中央通・内丸・大沢川原・菜園地区）の居住人口

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

- ①. 中央通二丁目地区優良建築物等整備事業（優良建築物等整備事業）（盛岡市中央通二丁目地区再開発ビル建設協議会）

事業完了時期	平成27年度【済】
事業概要	土地の高度利用を図るとともに、防災性、省エネに配慮したマンションを建設し、まちなか居住の推進を図る。
事業効果及び	平成27年9月に分譲マンション（110戸）が完成。本事業の実施に

進捗状況	より、中心市街地歩行者・自転車通行量の増加に寄与したものと見込まれる。本事業の実施による大通コアエリアの居住人口の増加は178人と見込んでいる。
------	--

②. 大通地区優良建築物等整備事業（優良建築物等整備事業）（(仮称)盛岡市大通地区再開発ビル建設協議会）

事業完了時期	平成29年度【実施中】
事業概要	土地の高度利用を図るとともに、防災性に配慮したマンションを建設し、まちなか居住の推進を図る。
事業効果及び進捗状況	権利者の調整に時間を要しており、当初の計画に遅れが生じているが、早期完了に向けて助言、監督等を行う。本事業の実施により、大通コアエリアの居住人口の増は129人の増加が見込まれる。

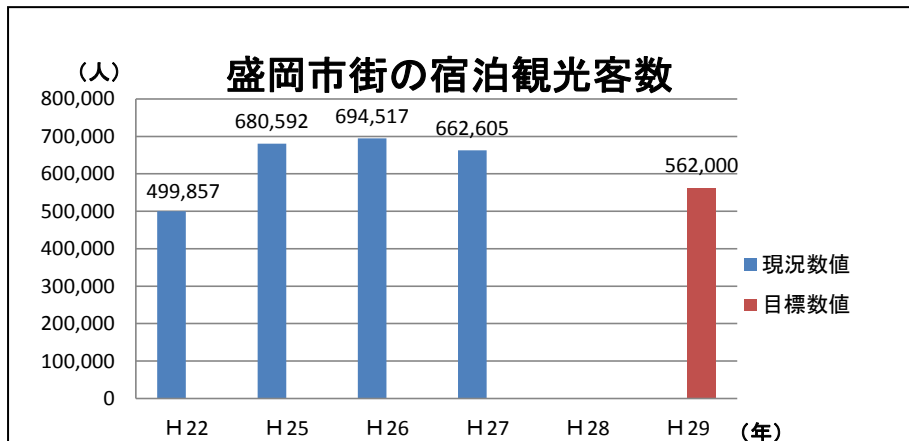
●目標達成の見通し及び今後の対策

完了した事業があるものの、まだ完了していないハード整備事業の推進により、事業効果が今後さらに発現していくものと推測される。

今後の対策としては、継続して居住環境の整備や商店街の魅力向上につながる事業を実施していくほか、優良建築物等整備事業等の新規ハード整備事業についても着実に進めていくことで、目標達成を目指していく必要がある。

「盛岡市街の宿泊観光客数」※目標設定の考え方基本計画P96～P98参照

●調査結果の推移



年	(万人)
H22	50.0 (基準年値)
H25	68.1
H26	69.5
H27	66.3
H28	
H29	56.2 (目標値)

※調査方法：宿泊施設からの回答を盛岡市が集計

※調査月：平成28年3月（平成27年1月～12月分の数値）

※調査主体：盛岡市

※調査対象：盛岡市街の宿泊施設

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. (仮称)岩手銀行旧中ノ橋支店（赤レンガ）活用事業（株岩手銀行）

事業完了時期	平成28年度【実施中】
事業概要	岩手銀行旧中ノ橋支店（赤レンガ）を保存修理し、見学・展示等の

	施設として活用を図る。
事業効果及び進捗状況	事業は予定どおりに進捗しており、平成27年度に保存修理が完了し、平成28年度に公開予定。本事業の実施により、盛岡市街の宿泊観光客数8,906人の増加が見込まれる。

②. 盛岡・八幡平観光圏整備事業（盛岡・八幡平広域観光推進協議会）

事業完了時期	平成26年度【済】
事業概要	盛岡・八幡平広域観光圏域内の関係団体での連携を強化し、滞在型の観光を展開することで、本市を含めた広域圏の魅力を向上させる。
事業効果及び進捗状況	盛岡・八幡平広域観光圏整備計画の認定期間の終了に伴い事業完了となるが、実施主体で継続して事業を実施していることから、今後も引き続き盛岡市街への宿泊者数の増加に寄与するものである。本事業の実施により盛岡市街の宿泊観光客数35,990人の増加が見込まれる。

③. 夏祭り（盛岡さんさ踊り）の開催（盛岡さんさ踊り実行委員会）

事業完了時期	平成29年度【実施中】
事業概要	伝統芸能である「さんさ踊り」を地域資源として活用し、市内外からの多くの観光客を迎えることにより、近隣の商店街の活性化及び市中心部の魅力の向上を図る。
事業効果及び進捗状況	予定どおり事業は進捗しており、平成27年の来場者数は過去最高を更新し増加傾向にあり、盛岡市街への宿泊者数の増加にも結び付いている。本事業の実施により、盛岡市街の宿泊観光客数37,573人の増加が見込まれる。

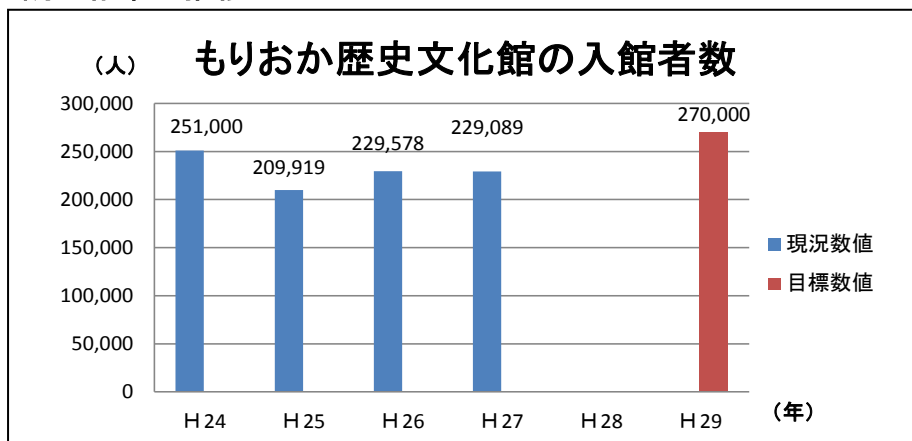
●目標達成の見通し及び今後の対策

平成27年の盛岡市街の宿泊観光客数は、平成26年からは減少したものの66.2万人と依然として高い水準を維持している。また、外国人観光客宿泊数も増加傾向にあり、盛岡さんさ踊りの来場者数は過去最高を記録するなど、日帰りと中心市街地以外も含めた平成27年の観光客入込数は、統計開始以降最高記録となっている。平成28年は、希望郷いわて国体や北海道新幹線開業による交流人口の増が見込まれており、盛岡おもてなし度UP事業の実施等による観光客の誘致促進を図ることで、引き続き高い水準を維持できるように取組みたい。

なお、平成26年度の観光消費額単価は県外宿泊客で29,360円（25年度比122.2%）、県内宿泊客で17,223円（25年度比108.5%）となっており、東日本大震災発生前の水準（22年度県外宿泊客28,119円、県内宿泊客17,131円）まで回復しつつある。

「もりおか歴史文化館の入館者数」 ※目標設定の考え方基本計画P98～P99参照

●調査結果の推移



年	(万人)
H 24	25.1 (基準年値)
H 25	21.0
H 26	23.0
H 27	22.9
H 28	
H 29	27.0 (目標値)

※調査方法：歴史文化課への聞き取り調査

※調査月：平成28年3月（平成27年1月～12月の数字）

※調査主体：盛岡市

※調査対象：もりおか歴史文化館

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. もりおか歴史文化館教育普及・学芸事業（盛岡市・もりおか歴史文化館指定管理者）

事業完了時期	平成29年度【実施中】
事業概要	企画展や、学校等と連携した事業の実施により、盛岡城跡や周辺城下町魅力的な観光資源として機能させ、市民や観光客等の回遊による賑わいの創出を図る。
事業効果及び進捗状況	もりおか歴史文化館の入館者数はほぼ横ばいであり、目標に向けて、引き続き事業の充実を図る必要がある。本事業の実施により、もりおか歴史文化館の入館者数12,550人の増加が見込まれる。

②. まちなか情報センター運営事業（盛岡市・もりおか歴史文化館指定管理者）

事業完了時期	平成29年度【実施中】
事業概要	中心市街地をはじめとする市内のイベントや商店街等に関する情報を提供し、中心市街地のまち歩きの拠点とすることにより、市民や観光客の回遊性を高め、中心市街地の活性化を図る。
事業効果及び進捗状況	もりおか歴史文化館の入館者数はほぼ横ばいであり、目標に向けて、引き続き情報発信の拠点としての効果の充実を図る必要がある。本事業の実施により、もりおか歴史文化館の入館者数5,020人の増加が見込まれる。

●目標達成の見通し及び今後の対策

平成27年のもりおか歴史文化館の入館者数は、22.9万人とほぼ横ばいであり、取組による年間を通しての効果、及び周辺施設への波及効果の発現には至っていないものと考えられる。



今後の対策としては、引き続き効果の発現に向けて、もりおか歴史文化館教育普及・学芸事業を強化していくとともに、歴史文化館周辺で開催が予定されるもりおか広域まるごとフェアやいしがきミュージックフェスティバルなどのイベントとの相乗効果により、中心市街地の回遊性を高めることで、通年を通した入館者数の増加を目指していく必要がある。